日刊建設通信新聞（2020 年３月 26 日付３面掲載）

【オリコンサル HD 子会社のリサーチアンドソリューション
事故削減サービスを介護事業向けに改良】

事故削減サービスを介護事業向けに改良

オリコンサルHD子会社

オリエンタルコンサルタンツホールディングス子会社のリサーチアンドソリューション（福岡市、美濃部直樹社長）は、ＡＩ（人工知能）を活用した交通事故削減サービス「車録Ｐｒｏ（シャーロックプロ）」を介護事業の送迎車向けに改良、介護事業を展開するツクイ（横浜市、髙橋靖宏社長）のデイサービスなどの送迎車約３０００台に順次導入する。

同社は、オリコンサルグループが掲げる「社会価値創造企業」の実現に向けた重点化事業の１つとして、２０１３年からドライブレコーダーを活用した事故削減・安全運転分析支援サービス「車録（シャーロック）」を展開。19年12月にはディー・エヌ・エー（ＤｅＮＡ）が提供するＡＩを活用した商用車向け交通事故削減支援サービス「ＤＲＩＶＥ ＣＨＡＲＴ（ドライブチャート）」のシステムと、車録のシステムを組み合わせた「車録Ｐｒｏ」を共同開発し販売している。

これまでは主に企業の営業車両やトラックなどに提供していたが、介護事業における安全運転の基準は通常の商用車とは異なるため、デイサービスの事業者数が全国で５００カ所を越える業界トップクラスのツクイと、その子会社で福祉業界向け車両リース会社のツクイキャピタルと共同で介護事業の送迎車での安全管理のニーズを分析。

ドライブレコーダーに記録された運転手ごとの動画データに基づいて、個々の特性や改善点をまとめたレポートを作成。それらを管理本部や各拠点にフィードバックする機能を生かして介護事業の現場に即するよう改良している。

同社は、今回の導入で得られたさまざまなデータを軸に、介護事業の安全運転教育ツールや安全運転適正基準を構築し、介護事業の送迎車の交通マナー向上と交通事故削減対策に取り組むとしている。